

令和7年度 青森県県土整備部優良建設関連業務表彰

県土整備事務所長表彰

業務の概要

業務名	国道394号交通安全施設整備用地測量・調査業務委託		
受注者名	株式会社出雲		
業務箇所	上北郡六ヶ所村大字倉内地内	委託料	7,205,000円
履行期間	令和6年6月26日～令和6年10月31日	成績評定点	81点
完成年月日	令和6年10月23日	推薦公所	青森県上北県土整備事務所
管理技術者	中村 竜司	総括調査員	藤村 康夫
業務概要	用地測量A=1.25ha、立竹木の調査及び算定A=0.5千m2	主任調査員	渡辺 葉月
		調査員	桜庭 駿斗

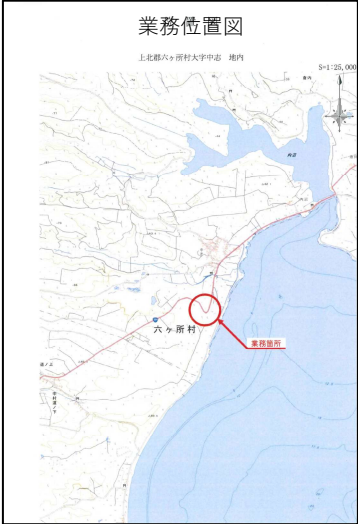
推薦理由

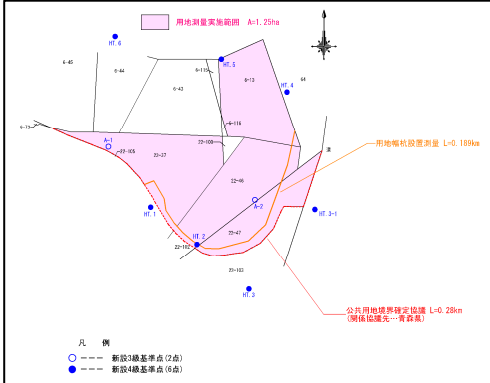
本業務は、上北郡六ヶ所村大字倉内地内において、防雪柵設置に係る用地測量及び用地補償の算定を行うものである。

業務箇所は耕作地であり、業務遂行にあたっては地権者の承諾を得て作業するものであるが、地権者に対する言動に十分注意し、トラブル等が生じないように努めた。また、防雪柵計画位置が当初の境界と不一致しており、臨機応変に対応した結果、工事实施の目途がたった。

以上、「その他、他の模範となると認められるもの」に該当することから、青森県県土整備部優良建設関連業務に推薦するものである。

写真・図面等











業務数量概要図、一覧表

受賞コメント

この度は、青森県県土整備部優良建設関連業務表彰を賜り誠にありがとうございます。
本業務にあたり、ご指導頂いた上北県土整備事務所の職員の皆様、ご協力頂きました関係各位の皆様にご心より感謝申し上げます。

今回の受賞を励みとして、更なる技術と品質向上に努め、地域社会の発展に貢献できるよう、より一層の努力をして参ります。
今後とも、皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



代表取締役
相田 喜一郎



管理技術者
中村 竜司

令和7年度 青森県県土整備部優良建設関連業務表彰

業務名

国道394号交通安全施設整備用地測量・調査業務委託

受注者名

株式会社出雲

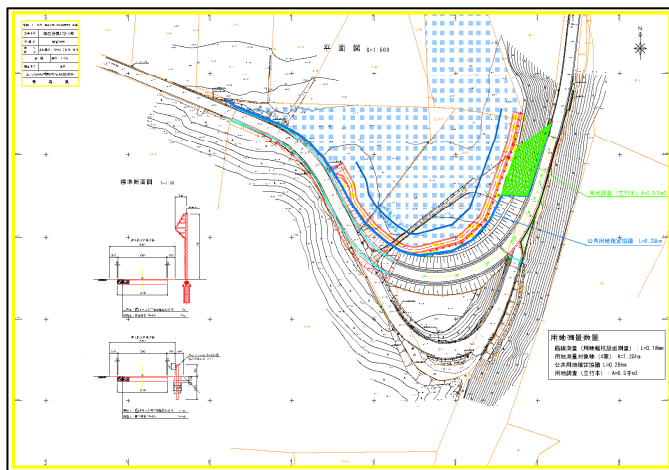
推薦業務及び受注者の概要

以下の欠格要件について

■該当しない □該当する

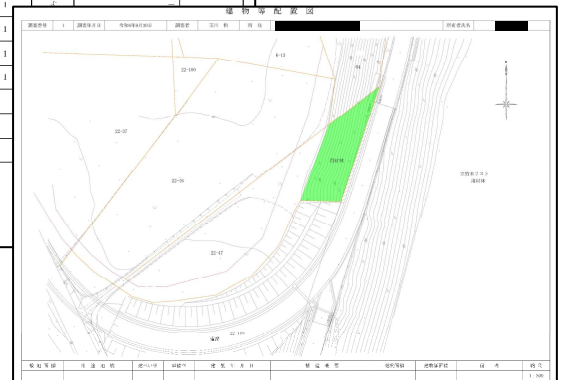
- ・受注者が青森県建設業者等指名停止要領に基づく指名停止又は文書注意を令和6年7月8日以降に受けた、または受ける予定がある
- ・その他表彰にふさわしくない事象がある

その他説明資料



計画平面図

補償金額表				
項目名	数量	単位	補償金額	備考
建物移転料	1	式	—	
工作物移転料	1	式	—	
立竹木補償金	1	式	—	
動産移転料	1	式	—	
農作基盤補償金	1	式	—	
家畜飼育補償金	1	式	—	
植木人補償金	1	式	—	
杉松運搬補償金	1	式	—	
改葬補償金	1	式	—	
農具料補償金	1	式	—	
公衆補償金	1	式	—	
合計				



立竹木調査成果品



現地状況写真①



現地状況写真②

令和7年度 青森県県土整備部優良建設関連業務表彰

業務の概要

県土整備事務所長表彰

業務名	国道394号交通安全施設整備（八幡橋）橋梁詳細設計業務委託		
受注者名	エイト技術（株）		
業務箇所	上北郡七戸町字	委託料	22,099,000円
履行期間	令和6年6月27日～令和7年3月23日	成績評定点	83点
完成年月日	令和7年3月19日	推薦公所	青森県上北県土整備事務所
管理技術者	佐藤 推	総括調査員	相馬 良璽
業務概要	橋梁設計 N=1式 仮設構造物設計 N=1式	主任調査員	堀内 俊雄
		調査員	南 将之進

推薦理由

本業務は、国道394号交通安全施設整備事業（西上川原工区）に伴い既設橋である八幡橋の側道橋を設置するために必要となる設計書類の作成を目的とした業務である。

八幡橋が属する国道394号沿いには、多くの家屋が連坦しており、極力用地買収や支障物件の移設を抑える必要があり、施工ヤードも限られていた。また八幡橋は一級河川高瀬川水系作田川に架橋しており、側道橋架橋時の仮設計画も河川条件等を考慮する必要もあったが、様々な条件をクリアした実現可能な設計計画・施工計画を立案した。

以上、「難易度が高い業務に対し優れた技術力を発揮したもの」に該当することから、青森県県土整備部優良建設関連業務に推薦するものである。

写真・図面等

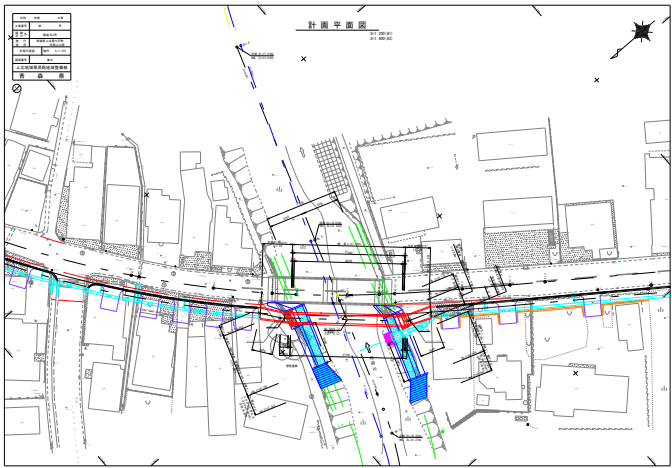


図1 計画平面図

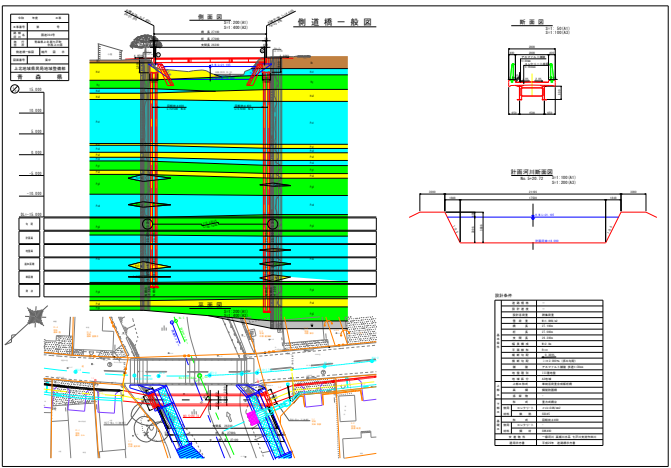


図2 側道橋一般図

受賞コメント

このたびは、上北県土整備事務所長表彰を賜り、誠にありがとうございます。本業務においては、上北県土整備事務所の調査職員の皆様より多大なるご指導・ご支援を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

本業務では、施工ヤードが非常に狭小であり、通常の工法では対応が困難な状況にありました。そのため、計画段階から施工性と経済性の両立を目指し、新技術を含めた多様な工法を検討のうえ、狹隘地での施工が可能な基礎工法の選定と施工計画の立案に注力いたしました。

このたび、優良業務としてご評価をいただきましたことは、私たちにとって大きな喜びであり、今後の励みとなるものでございます。改めて厚く御礼申し上げます。本表彰を糧に、今後も技術力の研鑽に努め、より一層地域社会の発展に寄与できるよう精進してまいります。今後とも変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



代表取締役
佐藤 富一



管理技術者
佐藤 推

令和7年度 青森県県土整備部優良建設関連業務表彰

業務名	国道394号交通安全施設整備（八幡橋）橋梁詳細設計業務委託
受注者名	エイト技術（株）

推薦業務及び受注者の概要

以下の欠格要件について

■該当しない □該当する

- 受注者が青森県建設業者等指名停止要領に基づく指名停止又は文書注意を令和6年7月8日以降に受けた、または受ける予定がある
- その他表彰にふさわしくない事象がある

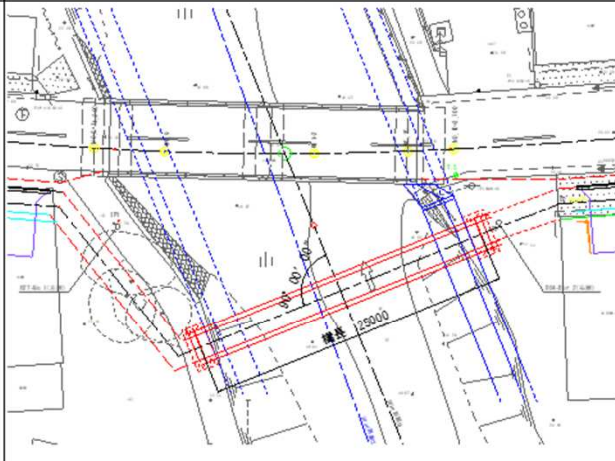
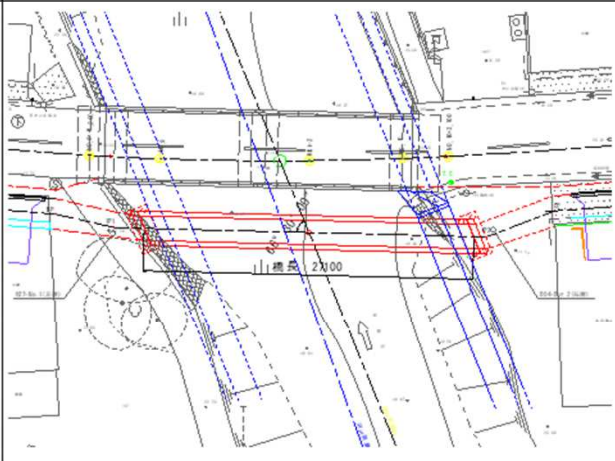
その他説明資料

図3 八幡橋周辺の概要



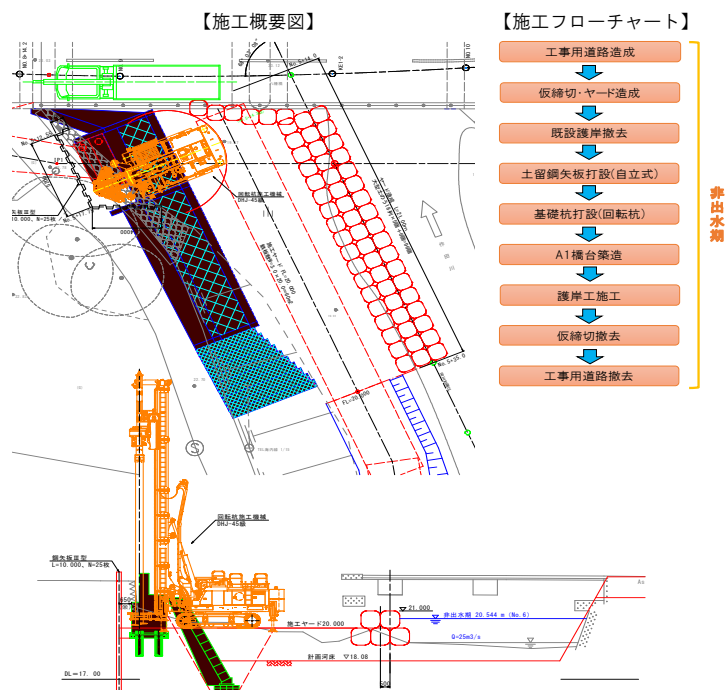
八幡橋が属する一般国道394号沿いには、多くの家屋が連担している。特に作田川左岸側では橋梁に近接した状態である（写真②、③）。また左岸側架橋位置付近では、施工に支障となる立木があり、伐採や移設は極力抑える必要がある※地権者要望（写真①）。

図4 用地買収を極力少なくした側道橋配置計画検討表

案	第1案		第2案	
	河川に直角に配置した案		既設橋に平行に配置した案	
平面図				
道路	・歩道延長が2案より長くなる ・動線が悪く、道路橋に歩行者が混入するリスクがある。		×	・既設橋と平行のため、歩行者の動線がスムーズである。○
河川	・橋台と河川の流心方向が同一		○	・橋台と河川の流心方向が同一○
周辺影響	・既設橋と離れているため、2案に比べ用地や施工時の借地も大きくなる。 ・施工時は左岸家屋の出入りが困難となる。		×	・既設橋と平行に配置するため、用地や施工時の借地も最小限の範囲となる。○
評価	×		○（採用）	

橋の方向は河川と直角が基本であるが、直角とした場合、既設橋と離れることとなり、用地取得や、施工時の問題も多い。また、歩道線形の連続性がなくなり、歩行者の動線が悪く、歩行者が道路橋に混入するリスクがあるため、本計画では、既設橋と平行とすることにした。

図5 立木の伐採を回避・借地を発生させない施工計画の検討（左岸側）



河川内に施工ヤードを設ける計画とし、民地を施工ヤードとして使用することを回避した。杭打機の運搬について、実現可能な運搬路を設定した。

令和7年度 青森県県土整備部優良建設関連業務表彰

業務の概要

県土整備事務所長表彰

業務名	国道279号外橋梁定期点検業務委託		
受注者名	南部シビルコンサルタンツ株式会社		
業務箇所	上北郡野辺地町字鳴沢外地内	委託料	18,051,000円
履行期間	令和6年7月3日～令和7年2月28日	成績評定点	83点
完成年月日	令和7年2月28日	推薦公所	青森県上北県土整備事務所
管理技術者	石橋 博則	総括調査員	相馬 良璽
業務概要	橋梁定期点検業務 N=1式	主任調査員	堀内 俊雄
		調査員	山崎 大智

推薦理由

本業務は、上北県土整備事務所が管理する橋梁のうち、41橋（Aグループ橋梁16橋、Bグループ橋梁25橋）の橋梁について、橋梁の劣化・損傷の状況を把握し、橋梁の構造安全性の確保、交通安全性の確保及び第三者被害の防止を図ることを目的としたものである。

点検を実施するにあたり、車道橋の両側に側道橋が設けられている橋梁について、橋梁点検車での近接目視は困難であることから、点検支援技術である「全方向衝突回避センサーを有する小型ドローン技術」を提案、採用し、点検作業のコスト削減、点検日数削減、効率性や安全性の向上を図った。

以上、「特筆すべき技術提案があったもの」に該当することから、青森県県土整備部優良建設関連業務に推薦するものである。

写真・図面等



写真 小型ドローンを使用しての橋梁点検状況

受賞コメント

この度は上北県土整備事務所長表彰を賜りまして、誠にありがとうございます。本業務を遂行するうえで、ご指導頂きました上北県土整備事務所の関係職員の皆様、並びにご協力頂きました関係各位に心より感謝申し上げます。

本業務は点検支援技術である「全方向衝突回避センサーを有する小型ドローン技術」を採用して定期点検を実施したものであり、その成果が評価されたことに対し、大変光栄に思っております。

今回の栄誉を励みとし、更なる技術の向上に努め、より一層地域社会に貢献できるように精進して参りたいと思いますので、今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

代表取締役
戸来 敏夫管理技術者
石橋 博則

令和7年度 青森県県土整備部優良建設関連業務表彰

業務名

国道279号外橋梁定期点検業務委託

受注者名

南部シビルコンサルタンツ株式会社

推薦業務及び受注者の概要

以下の欠格要件について

■該当しない □該当する

- 受注者が青森県建設業者等指名停止要領に基づく指名停止又は文書注意を令和6年7月8日以降に受けた、または受ける予定がある
- その他表彰にふさわしくない事象がある

その他説明資料

新技術等の活用比較検討表

		橋梁番号	橋梁名	架橋年次	供用年数	橋 長	全幅員	径間数	占有面積	上部工形式	下部工形式
検討対象橋梁		512790025	鳴 沢 橋	1953 年	69 年	69.0 m	8.7 m	4径間	600.3 m ²	単純鋼非合成 I 桁橋(4連)	A1,A2重力式橋台 P1～P3壁式橋脚
		512798028	鳴沢橋側道橋(下り)(上流側)	1980 年	42 年	69.0 m	2.3 m	4径間	158.7 m ²	単純鋼非合成H桁橋(4連)(側道橋)	A1,A2不明 P1～P3壁式橋脚
		512798029	鳴沢橋側道橋(上り)(下流側)	1980 年	42 年	69.0 m	2.1 m	4径間	144.9 m ²	単純鋼非合成H桁橋(4連)(側道橋)	A1,A2不明 P1～P3鋼製 T 型橋脚(柱円)

技術名	従来技術【梯子（脚立）】			全方向衝突回避センサーを有する 小型ドローン技術			360度周囲を認識するドローンを用いた 橋梁点検支援技術 (Skydio)			全方位カメラを用いた点検支援技術						
技術番号	—			BR010009-V0424			BR010043-V0224			BR010048-V0124						
点検イメージ																
技術概要	・桁下高が4.0m程度の橋梁までは梯子（脚立）での点検は可能。 ・梯子を使用する場合は、墜落や道具の落下等々に注意し、安全第一で作業を行う。 ・梯子の転位防止のために、設置場所は安定した水平で堅固な場所とし、補助者が梯子の脚部を支えて作業を行う。			・ドローンによる橋梁の狭小部（部材間）をタブレット端末や送信機を用いて撮影することができる。 ・狭小部への進入に際して、障害物を自動的に回避する機能を有するため、桁間、トラス部材間、フランジ上面、支保付近など、塗装剥がれやひびわれ、腐食具合などを撮影することができる。 ・計測機器は4枚羽のドローンである移動装置の上面と底面の各3基、計6基の魚眼カメラを具備し、その6基の魚眼カメラの映像から周囲との距離を計算し、360度を常時監視することで一定の距離を常に確保し続け、障害物との衝突を回避する。			・360度周囲を認識する機構を有し、自動および手動で撮影の状態を記録することが出来るドローンの技術である。 ・本技術を用いることで非GNSS環境においても飛行をすることができる。 ・自動飛行では構造物の形状を認識し構造物に沿った形で一定の距離を保ち撮影することが可能となる。 ・手動飛行では衝突回避機能を活用し最小120cmの狭小部へ進入し撮影することが可能となる。 ・ひびわれ解析の自動検出・解析に「ひびみっけ」を利用して、AI抽出することが可能である。			・360度全体の撮影が可能な全方位カメラを上下運動用伸縮金具、伸縮ポール、L型ポールに附随させて、近接目視が困難な部位などを撮影することができる。 ・撮影された360度の映像はWi-Fi通信により手元のIoT端末で確認可能である。 ・全方位カメラを吊り下げる場合、本軸のガイドロープで全方位カメラを昇降させることで安定した動作が可能である。 ・撮影した360度画像を歪み補正し、その画像より損傷を検出することができる。						
検討項目	記 事			評価	記 事			評価	記 事			評価				
技術区分	部材種別	鋼製/コンクリート/その他			◎	鋼製/コンクリート/その他			◎	鋼製/コンクリート/その他			◎			
	対象部位	上部構造(主桁、横桁、床版等)/ 下部構造(橋脚、橋台)/支保部/その他				路上/上部構造(主桁、横桁、床版等)/ 下部構造(橋脚、橋台)/支保部/その他				上部構造(主桁、横桁、床版、対傾橋、横橋等)/ 下部構造(橋脚、基礎)/排水施設/その他						
	変状種類	目視点検のため全変状確認可能				腐食/ゆるみ・陥落/破断/ひびわれ/ 床版ひびわれ/変形・欠損/漏水・滞水/ 支保部の機能障害/その他				腐食/ゆるみ・陥落/破断/ひびわれ/ 床版ひびわれ/変形・欠損/漏水・滞水/ 支保部の機能障害/その他						
	物理原理	近接目視				画像（静止画/動画）				画像（静止画/動画）						
経済性	施工条件	・点検：梯子6m≦B<12m4径間≦N≦6径間 ・点検：梯子B<6m4径間≦N≦6径間			◎	・ドローンによる画像撮影 ・画像処理（オルソ画像作成） ・変状抽出（技術者抽出）			○	・ドローンによる画像撮影 ・画像処理（オルソ画像作成） ・変状抽出（AI抽出「ひびみっけ」）			△			
	施工費	1,030,000 円/橋 (1,140 円/m ²) (1.00)				1,280,000 円/橋 (1,416 円/m ²) (1.24)				1,750,000 円/橋 (1,936 円/m ²) (1.70)				1,560,000 円/橋 (1,726 円/m ²) (1.51)		
施工性	・桁下の作業となるため、交通規制は不要。 ・近接するため損傷部(うき等)の処置が可能。 ・梯子を移動しながら昇降して近接目視点検を行うため、効率が悪く連続作業が不可能。 ・河川状況(高水等)から、桁下での作業ができない場合がある。			×	・桁下の作業となるため、交通規制は不要。 ・最小幅1.2mの狭小部への進入が可能。 ・点検時の風速が11.2m/s以上は飛行不可。 ・夜間時および雨天時は計測不可。 ・損傷部(うき等)の処置は、梯子等で補う必要がある。			○	・桁下の作業となるため、交通規制は不要。 ・最小幅1.2mの狭小部への進入が可能。 ・点検時の風速が5.0m/s以上は飛行不可。 ・夜間時および雨天時は計測不可。 ・損傷部(うき等)の処置は、梯子等で補う必要がある。			○	・側道橋や桁下が作業帯で、交通規制は不要。 ・点検時の風速が5.0m/s以上は撮影不可。 ・河川状況(高水等)から、桁下での作業ができない場合がある。 ・夜間や暗所での使用時は照明施設が必要。 ・損傷部(うき等)の処置は、梯子等で補う。			△
	点検作業所要日数 4.0 日				点検作業所要日数 1.5 日				点検作業所要日数 1.5 日				点検作業所要日数 3.0 日			
判 定	経済的に最も優れるが、施工性に劣ることから採用を見送る。			○	損傷部の処置は梯子等で補う必要があるが、すべての項目で総合的に優れるため採用する。			◎	対象橋梁の点検は新技術で対応可能だが、損傷部の処置は補足点検が必要になるほか、経済性に最も劣ることから採用を見送る。			△	対象橋梁の点検は新技術で対応可能だが、損傷部の処置は補足点検が必要になるほか、経済性及び施工性に劣ることから採用を見送る。			×

複数の新技術がある中で、上表のとおり、比較検討を行い、鳴沢橋の点検に最も適した支援技術を提案し、採用した。

令和7年度 青森県県土整備部優良建設関連業務表彰

県土整備事務所長表彰

業務の概要

業務名	国道279号道路改良道路環境調査業務委託		
受注者名	いであ（株）		
業務箇所	上北郡横浜町字林ノ後外地内	委託料	13,396,523円
履行期間	令和6年3月14日～令和7年1月31日	成績評定点	84点
完成年月日	令和7年1月31日	推薦公所	青森県上北県土整備事務所
管理技術者	菅野 宗武	総括調査員	内海 達也
業務概要	猛禽類調査 1式	主任調査員	長瀬 雄二
		調査員	佐々木 秀治

推薦理由

本業務は、下北半島縦貫道路において横浜南バイパスの希少猛禽類（オオタカ、ハイタカ）の工事中のモニタリング調査、横浜北バイパスの繁殖期の猛禽類調査を実施し、調査結果をとりまとめ、影響の予測評価等を行ったものである。

本業務は毎年度、継続して調査を実施している業務であり、現地調査や専門家のヒアリングを反映し、的確な提案及び報告書取りまとめを実施し、「委託業務成績評定点が特に優れているもの」に該当することから、青森県県土整備部優良建設関連業務に推薦するものである。

写真・図面等



猛禽類行動圏調査



営巣利用確認調査



餌を運ぶノスリ



巣で巣立った幼鳥（ハイタカ）

		R6年												R7年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
ハチクマ	一般度*1	小	大	極大	大	中	小	無								
	一般的ハチクマの繁殖サイクル	渡りの時期	求愛・造果期	抱卵期	巣内育雛期	巣外育雛期	渡りの時期	非繁殖期 (東南アジア)								
	一般度*2	無	小	大	極大	大	中	小	無							
ハイタカ	一般度*1	大	極大	大	中	小							中	大		
	一般的ハイタカの繁殖サイクル	造果期	抱卵期	巣内育雛期	巣外育雛期	非繁殖期						求愛期	造果期			
	一般度*2	大	極大	大	中	小							中			
オオタカ	一般度*1	極大	大	中	小							中	大			
	一般的オオタカの繁殖サイクル	抱卵期	巣内育雛期	巣外育雛期	非繁殖期						求愛・造果期					
	一般度*2	大	極大	大	中	小							中			
ノスリ	一般度*1	極大	大	中	小							中	大			
	一般的ノスリの繁殖サイクル	抱卵期	巣内育雛期	巣外育雛期	非繁殖期						求愛期	造果期				
	一般度*2	大	極大	大	中	小							中			

注）
※1 繁殖の開始が遅い場合の敏感度
※2 繁殖の開始が早い場合の敏感度
※3 環境省自然環境局野生生物課（2012）猛禽類保護の進め方（改訂版）一 特異種、クマタカ、オオタカについて。
※4 前橋営林局編（1998）オオタカの営巣地における森林施業・生息環境の管理と関係等における対応、社団法人日本林業技術協会。

受賞コメント

本業務では、下北半島縦貫道路の事業進捗と環境保全の両立を図ることを目的とし、特に、周辺に生息する猛禽類の保全に配慮しました。猛禽類の生息には、営巣地から工事箇所の離隔や、工事箇所の見え方が重要であるとされ、これらの点に注意した現地調査及び、工事影響の客観的な予測評価を行いました。業務の実施中は、弊社のスローガンである「人と地球の未来のために」を常に念頭に置いておりました。道路事業の進捗と環境保全の両立に貢献できたことは、喜びであり誇りとなりました。この度は、貴重な賞を頂け、誠に光栄であります。今後とも精進を忘れず、青森県内の各種事業の進捗と環境保全に貢献して参ります。



東北支店 支店長
小澤 宏二



管理技術者
菅野 宗武

令和7年度 青森県県土整備部優良建設関連業務表彰

業務名

国道279号道路改良道路環境調査業務委託

受注者名

いであ（株）

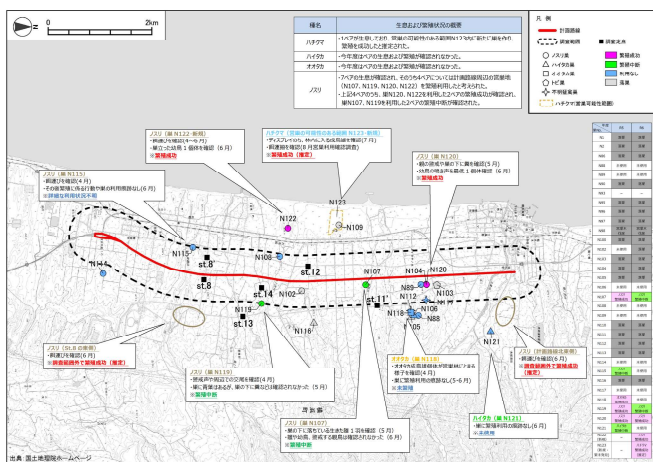
推薦業務及び受注者の概要

以下の欠格要件について

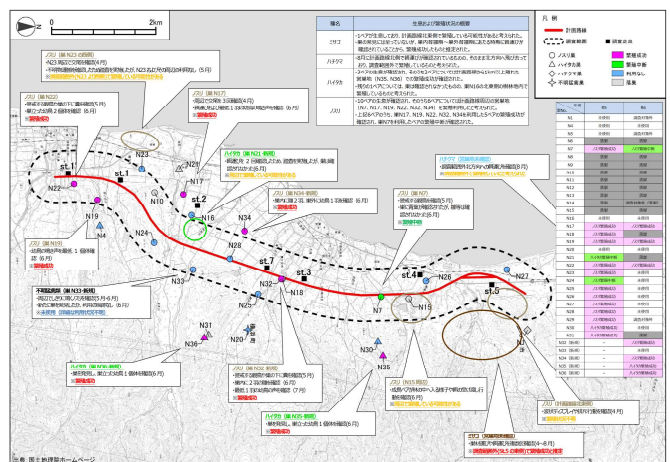
■該当しない □該当する

- 受注者が青森県建設業者等指名停止要領に基づく指名停止又は文書注意を令和6年7月8日以降に受けた、または受ける予定がある
- その他表彰にふさわしくない事象がある

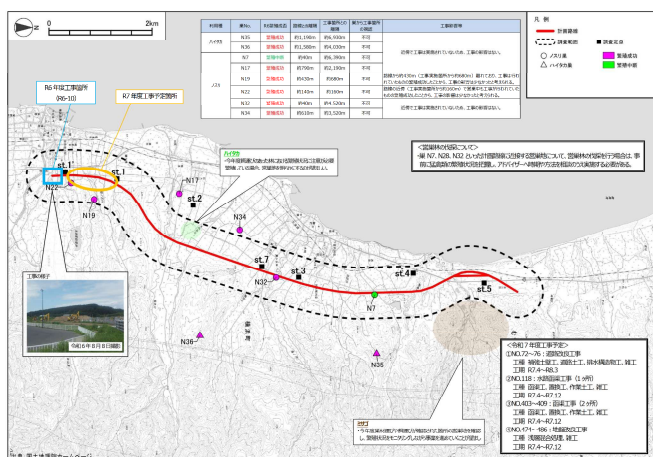
その他説明資料



令和6年度における猛禽類の繁殖状況（横浜南）



令和6年度における猛禽類の繁殖状況（横浜北）



令和6年度繁殖状況と工事の関係

回	実施時期	内容
1	調査実施前 (令和6年4月4日)	・現地調査計画について了承した。 ・県から直接工事箇所が提供できるかを確認すること。 ・県 N116 のオオカバについて、県計画道路が約 680m 離れているため、工事の影響は小さいと判断される。飛路の状況を確認すること。 ・繁殖成功したペアについては、種が何羽単立したのかという情報を取得できると良い。 ・繁殖中断したペアについては、幹にテンなどの爪痕がないか、巣が壊れているかを確認すること。 ・今年度調査でオオカバの写真を撮影できた場合は送付すること。 ・オオカバやオオカバが事業区域周辺の湿地環境で確認される可能性があるため、周辺に湿地環境がある場合はこれらの種の出現にも注意してほしい。
2	調査実施後 (令和6年10月31日)	・調査結果について了承した。 ・ハクマについて、今年度は県 N121 を利用したかったが、ハクマの距離は 100m であるため、工事の影響は少ないと判断される。 ・オオカバについて、5～6 月に確認されていることから少なくとも計画道路周辺には繁殖していないのではないかと考えられる。また、今年度は県 N119 をオオカバが利用したかったことについて、工事の影響は少ないと判断される。 ・平成 25 年にオオカバが利用したと考えられる県 N11 の調査結果を確認したい。 ・ノスについて、4 月の県 N115 への調査は、求愛行動の可能性もある。 ・県 N107 や県 N119 の調査は、昨年調査で中断したノス、昨年度は工事中に繁殖成功していることや、県から工事箇所が提供できることから工事の影響は少ないと判断される。 ・切土法面の緑化により、ノスが餌を捕りやすい環境でできているのではないかと考えられる。 ・来年度は横浜南工区の調査を実施しない旨、了承した。

学識者ヒアリングの結果（横浜南）

回	実施時期	内容
1	調査実施前 (令和6年4月4日)	・現地調査計画について了承した。 ・県から直接工事箇所が提供できるかを確認すること。 ・県 N116 のオオカバについて、県計画道路が約 680m 離れているため、工事の影響は小さいと判断される。飛路の状況を確認すること。 ・繁殖成功したペアについては、種が何羽単立したのかという情報を取得できると良い。 ・繁殖中断したペアについては、幹にテンなどの爪痕がないか、巣が壊れているかを確認すること。 ・今年度調査でオオカバの写真を撮影できた場合は送付すること。 ・オオカバやオオカバが事業区域周辺の湿地環境で確認される可能性があるため、周辺に湿地環境がある場合はこれらの種の出現にも注意してほしい。
2	調査実施後 (令和6年10月31日)	・調査結果について了承した。 ・計画道路北東側に繁殖している可能性のあるペアについて、調査距離は 400～600m であることから、このまま繁殖地を築き上げれば直接的な影響はないと判断されるが、今後繁殖地を移す可能性もあるため十分注意する必要がある。 ・県 N16 の北東側に繁殖しているハクマについて、入っていた中から繁殖している可能性が高い。その場合は計画道路から 200m 程度離れているため、工事による影響は少ないと判断される。来年度以降の調査において、巣を見つけていく必要がある。 ・来年度も今年度と同様の調査を実施しない旨、了承した。

学識者ヒアリングの結果（横浜北）

令和7年度 青森県県土整備部優良建設関連業務表彰

県土整備事務所長表彰

業務の概要

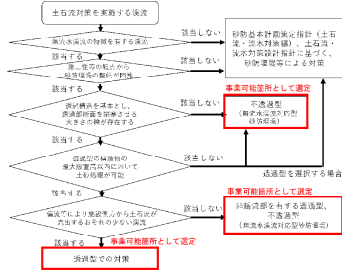
業務名	高瀬川圏域総合流域防災砂防（無流水溪流対策）設計業務委託		
受注者名	株式会社建設技術研究所		
業務箇所	十和田市大字法量外地内	委託料	12,177,000円
履行期間	令和6年4月23日～令和7年3月25日	成績評定点	83点
完成年月日	令和7年3月21日	推薦公所	青森県上北県土整備事務所
管理技術者	吉田 圭佐	総括調査員	前田 昇
業務概要	無流水溪流対策検討 N=1式	主任調査員	成田 智洋
		調査員	須藤 直也

推薦理由

本業務は、上北管内における土石流対策のうち、無流水溪流の特徴を有した小規模溪流の効果的・効率的な対策を推進するため、「無流水溪流対策に係る技術的留意事項(試行案)令和4年3月」に基づき、無流水溪流対策の検討を行うものである。既存資料及び現地踏査の結果、対象溪流は7溪流となった。この7溪流のうち、事業優先度を選定するため、評価尺度の異なる指標を評価する手法として階層分析法（AHP）を用いて、優先度の検討（基礎点×重み）を行い、事業箇所を決定した。

以上、「その他、他の模範となると認められるもの」に該当することから、青森県県土整備部優良建設関連業務に推薦するものである。

写真・図面等



評価結果	溪流番号	溪流名	流域面積	浸食可能土砂量	備考
事業可能箇所	206-I-1	中赤伏沢	0.02	640	
	206-II-2	川原沢	0.04	1,460	
	404-I-19	下焼山温泉沢	0.01	460	
	411-I-4-2	下六ヶ所沢	0.01	81	
優先度の高い溪流	404-I-11	子ノ口沢	0.05	1,120	平常時流水有り
	206-I-2	東赤伏沢	0.04	500	施工ヤードの確保が可能
	405-III-8	坂ノ下東	0.02	130	平常時流水有り

受賞コメント

この度は、青森県上北県土整備事務所長表彰の栄誉を賜り、誠にありがとうございます。今回の業務遂行にあたり、ご指導いただきました調査職員の皆様及び関係者の皆様に感謝申し上げます。

本業務は、他に事例の少ない青森県内初の業務となります。調査内容についてエビデンスと横並び評価のため、独自の調査票を基にとりまとめを行い、抽出した対象溪流について、階層分析法を用いた優先度の検討を提案させていただきました。

今後も技術の研鑽に励み、地域社会の安全・安心に貢献できるよう努めてまいります。引き続き、ご指導・ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長
西村 達也



管理技術者
吉田 圭佐

令和7年度 青森県県土整備部優良建設関連業務表彰

業務名

高瀬川圏域総合流域防災砂防（無流水溪流対策）設計業務委託

受注者名

株式会社建設技術研究所

推薦業務及び受注者の概要

以下の欠格要件について

■該当しない □該当する

- ・受注者が青森県建設業者等指名停止要領に基づく指名停止又は文書注意を令和6年7月8日以降に受けた、または受ける予定がある
- ・その他表彰にふさわしくない事象がある

その他説明資料

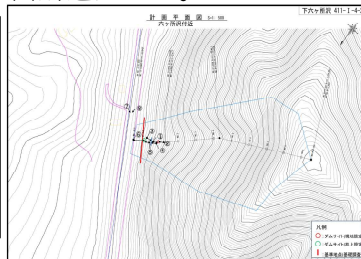
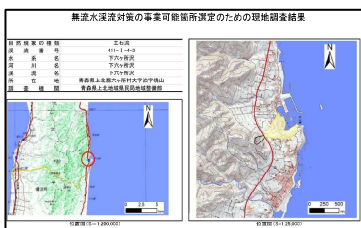
1.無流水溪流候補の机上抽出

- ①土砂災害特別警戒区域に指定
- ②流域面積が0.05km²以下
- ③基準点勾配が10°以上
- ④整備済み溪流でない（整備率100%未満）

抽出条件	条件適合溪流数	溪流数割合
①土砂災害特別計画区域に指定	70溪流	56%
②流域面積が0.05km ² 以下	48溪流	38%
③基準点勾配が10°以上	46溪流	37%
④整備済み溪流でない（整備率100%未満）	106溪流	85%
第1回抽出（①②③を満たす）	12溪流	10%
第2回抽出（②③④を満たす）	28溪流	22%

2.無流水溪流対策の事業可能箇所選定

- ・前述候補の28箇所について、現地調査を実施し、常時流水の判定、施工性の判定、土地利用状況等の確認を行い、事業可能箇所を7箇所選定した。



現地調査結果とりまとめの例

3.総合検討（優先度検討）

- ・事業可能箇所7箇所について、優先度を検討した。検討方法は、人家戸数や公共的建物数を定量的に点数化したものに、階層分析法（AHP）による重みの評価を乗じた合計点で優先度を決定した。AHPは評価尺度の異なる指標を評価する手法で、本業務では受注者の業務関係者が参加するアンケート方式により、各評価項目の重みを決定した。これにより、合理的に事業優先度を決定することができた。

No.	溪流名	溪流番号	公共的建物・災害対策関係施設数		人家戸数		避難所数		第1次緊急輸送道路の有無		事業可能土砂量		合計点 (重み考慮なし)
			数	数	戸数	戸数	箇所数	箇所数	有無	有無	土砂量	土砂量	
1	中赤伏沢	206-I-1	0	0	21	3	0	0	0	0	640	4	7
2	東赤伏沢	206-I-2	0	0	16	3	0	0	0	0	500	3	6
3	川原沢	206-II-2	0	0	1	1	0	0	0	0	1,460	5	6
4	子ノ口沢	404-I-11	3	5	2	1	0	0	1	5	1,120	5	16
5	下桃山温泉沢	404-I-19	6	5	18	3	0	0	1	5	460	3	16
6	下六ヶ所沢	411-I-4-2	0	0	119	5	0	0	1	5	81	1	11
7	坂ノ下東	405-III-8	0	0	0	0	0	0	0	0	130	2	2

No.	溪流名	公共的建物・災害対策関係施設		人家戸数		避難所数		第1次緊急輸送道路の有無		事業可能土砂量		合計点 (重み考慮)	優先順位	備考 (※4) 要対策箇所
		基礎点	重み	基礎点	重み	基礎点	重み	基礎点	重み	基礎点	重み			
1	中赤伏沢	0.347	0.000	3.0242	0.726	0.215	0.000	0.146	0.000	4.0550	0.200	0.926	4	○
2	東赤伏沢	0.347	0.000	3.0242	0.726	0.215	0.000	0.146	0.000	3.0550	0.150	0.876	5	○
3	川原沢	0.347	0.000	1.0242	0.242	0.215	0.000	0.146	0.000	5.0550	0.250	0.492	6	
4	子ノ口沢	0.347	1.735	1.0242	0.242	0.215	0.000	0.146	0.730	3.0550	0.250	2.957	2	
5	下桃山温泉沢	0.347	1.735	3.0242	0.726	0.215	0.000	0.146	0.730	3.0550	0.150	3.341	1	○
6	下六ヶ所沢	0.347	0.000	5.0242	1.210	0.215	0.000	0.146	0.730	1.0550	0.050	1.990	3	○
7	坂ノ下東	0.347	0.000	0.0242	0.000	0.215	0.000	0.146	0.000	2.0550	0.100	0.100	7	

基礎点の評価結果

重みを考慮した評価結果

令和7年度 青森県県土整備部優良建設関連業務表彰

業務の概要

県土整備事務所長表彰

業務名	泊陸奥横浜停車場線道路改良地質調査業務委託		
受注者名	株式会社キタコン		
業務箇所	上北郡六ヶ所村大字泊地内	委託料	39,127,000円
履行期間	令和6年6月20日～令和7年3月28日	成績評定点	83点
完成年月日	令和7年3月28日	推薦公所	青森県上北県土整備事務所
管理技術者	浅瀬石 徳樹	総括調査員	相馬 良璽
業務概要	機械ボーリング 17孔（L=194m）、弾性波探査6測線（L=280m）、解析等調査1式	主任調査員	石澤 徹
		調査員	板橋 清人

推薦理由

本業務は、一般県道泊陸奥横浜停車場線（冬期閉鎖路線）を全年通行可能なバイパスとして整備するために必要となる地盤情報を得るため、機械ボーリング、標準貫入試験、弾性波探査等を行い、それらの調査結果から切土部、盛土部、擁壁部、地すべり部ごとに推定地質断面図の作成、土質定数を設定し、設計・施工の基礎資料として取りまとめたものである。本業務箇所は、下北半島中央部の吹越烏帽子山地（国有林）に位置し、作業許可手続きや積雪、天候不良等の厳しい自然条件による工程のひっ迫が予想された。このため、工程を早めるための工夫を実施するとともに品質の向上に努め、履行期間内に業務を完了させた。

以上、「難易度が高い業務に対し優れた技術力を発揮したもの」に該当することから、青森県県土整備部優良建設関連業務に推薦するものである。

写真・図面等



特装車運搬(BR.14)



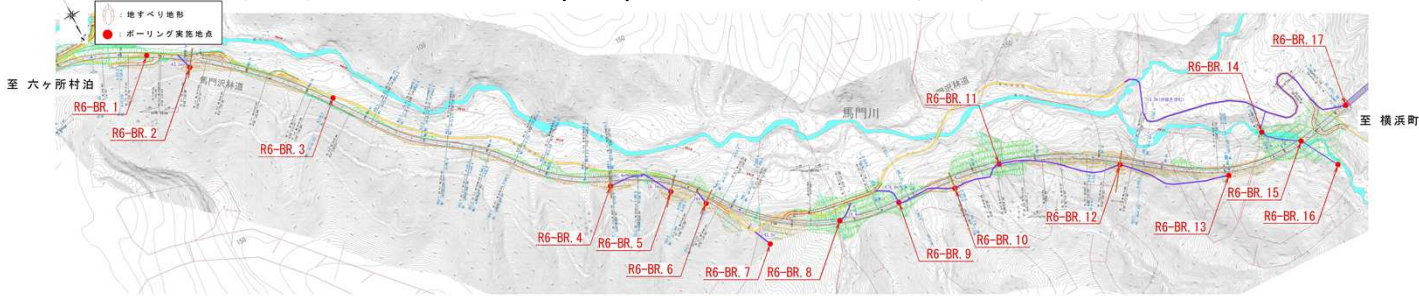
傾斜地足場(BR.15)



モノレール運搬(BR.16)



弾性波探査測定状況



受賞コメント

このたびは、「上北県土整備事務所長表彰」の栄誉を賜り、誠にありがとうございます。ご指導を賜りました上北県土整備事務所の調査職員並びに関係職員の皆様に心より感謝申し上げます。

本業務は、一般県道泊陸奥横浜停車場線の道路改良に必要な地盤情報を得るため、地質調査（ボーリング、標準貫入試験、弾性波探査）を行ったものです。

冬期における山岳地帯の現場作業で工期がひっ迫する中、現場作業工程の短縮を図るとともに安全管理を徹底し、無事故で現場作業を終え、履行期間内に業務を完了させることができました。

本日の表彰を糧に、今後も技術力・品質向上に努め「安全安心で活力ある地域社会づくり」の一助となるように今後も努力して参ります。

引き続きのご指導ご鞭撻を賜ります様宜しくお願い申し上げます。



代表取締役社長
佐藤 和昭



管理技術者
浅瀬石 徳樹

令和7年度 青森県県土整備部優良建設関連業務表彰

業務名

泊陸奥横浜停車場線道路改良地質調査業務委託

受注者名

株式会社キタコン

推薦業務及び受注者の概要

以下の欠格要件について

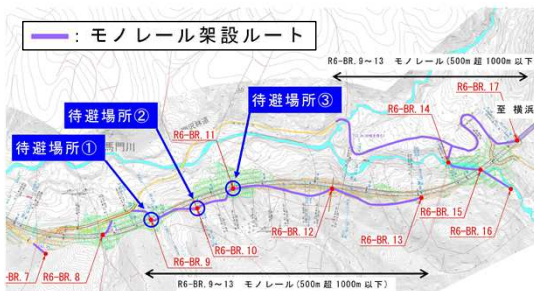
■該当しない □該当する

- ・受注者が青森県建設業者等指名停止要領に基づく指名停止又は文書注意を令和6年7月8日以降に受けた、または受ける予定がある
- ・その他表彰にふさわしくない事象がある

その他説明資料

1.山岳地帯における冬期の現場管理

- ・複数班が同時に稼働できるための工夫（1本のモノレールに牽引車を2台設置、牽引車の待避場所を設置）により、最大4台のボーリングマシンを同時稼働させ、工程短縮を実現した
- ・安全管理（KY活動、ヒヤリハットの事例を全作業員に周知、吹雪等による視界不良を防止するため道路沿いにポール、コーンを設置）を徹底し、事故防止に努めた



牽引車待避場所位置図



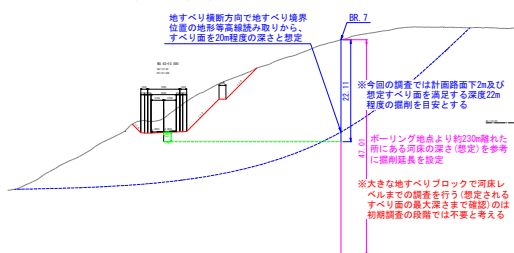
牽引車待避場所の設置状況



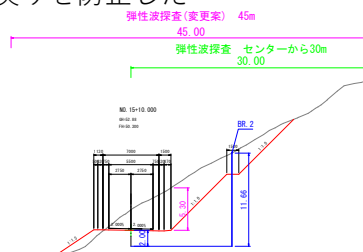
KY活動状況(ボーリング班)

2.調査方針の作成による品質の確保

- ・各種構造物の掘り止め条件、弾性波探査の延長、軟弱層が分布している場合のサンプリング・室内土質試験の実施等を『調査方針』として整理し、発注者、設計会社、調査会社の三者でその内容を確認、共有することで、品質を確保するとともに調査の手戻りを防止した



地すべり調査の調査方針



弾性波探査の調査方針(図)

測線名	センターから 左側の測線長(m) ※追加提案	センターから 右側の測線長(m) ※追加提案	合 計 ※変更案
15+10	15	30	45
50	10	30	40
55	10	30	40
58	10	30	40
78	10	30	40
91+10	15	50	65
合 計	70	210	280

弾性波探査の調査方針(表)

3.地すべり地についての考察を実施

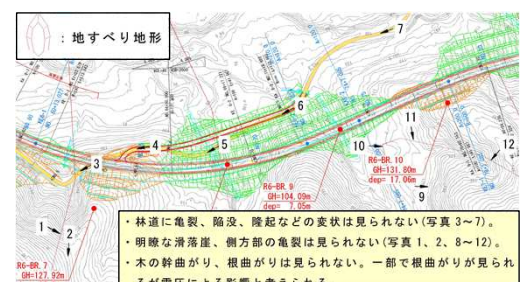
- ・調査範囲終点部に存在する地すべり地について文献調査及び現地踏査、ボーリングコアの観察結果から、現時点で地すべり活動は認められないものの、設計・施工時に地すべりを誘発させないような配慮や、施工中の地すべりの兆候や発生についての留意点を取りまとめた



地すべり地形分布図



山地災害危険地区位置図



現地踏査結果

令和7年度 青森県県土整備部優良建設関連業務表彰

県土整備事務所長表彰

業務の概要

業務名	三沢七戸線道路改良用地調査（意向調査）業務委託		
受注者名	株式会社青秋		
業務箇所	三沢市春日台地内	委託料	17,721,000円
履行期間	令和6年11月6日～令和7年3月15日	成績評定点	82点
完成年月日	令和7年3月14日	推薦公所	青森県上北県土整備事務所
管理技術者	木村 和則	総括調査員	藤村 康夫
業務概要	補償説明アンケート調査等N=739人、追跡調査N=32人、用材林再算定N=1業務	主任調査員	渡辺 葉月
		調査員	桜庭 駿斗

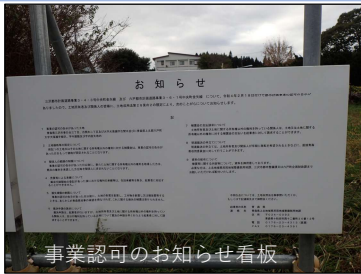
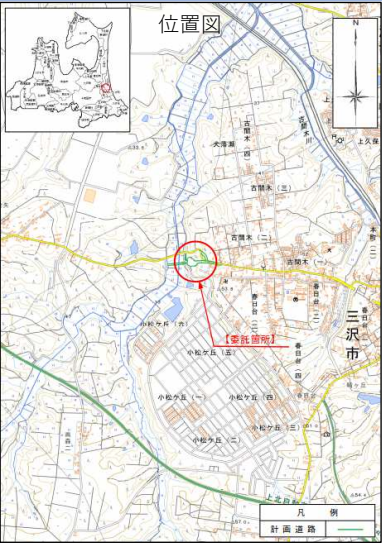
推薦理由

本業務は、三沢七戸線道路改良工事に伴い、発注者が指定する被相続人の相続関係人に対し、書面にて意向調査を実施し、用地確保を目的とするものである。

業務遂行にあたっては、電話や訪問による対応のほか、封筒に管理番号を記入し問合せに対して迅速に回答した。また海外在住者には国際スピード便を利用し追跡確認を行い、確実に権利調査ができるよう工夫した。その結果回収率は目標の8割を達成した。守秘義務として、指紋認証の情報管理室で情報管理を行った。

以上、「その他、他の模範となると認められるもの」に該当することから、青森県県土整備部優良建設関連業務に推薦するものである。

写真・図面等



業務項目一覧表

工種・種別	細別	単位	当初数量	変更数量	増減	摘要
打合せ協議	打合せ協議	業務	1	1	±0	業務着手前 中間2回 成果品納入時
再算定業務	用材林再算定	業務	-	1	+1	平坦地
補償説明 アンケート調査等	サンプル作成	人	1	1	±0	
	郵送・回収	人	737	739	+2	
用地測量	権利者確認調査（追跡）	人	-	32	+32	

受賞コメント

この度は、上北県土整備事務所長表彰の栄誉を賜り感謝申し上げます。受賞にあたり、ご指導をいただきました調査職員及び関係各位の皆様には心から御礼申し上げます。

本業務では個人情報取扱いへの取組みやアンケート回収率を上昇させるために行った海外在住者や住所不明者に対するの対策を評価して頂き光栄に存じます。

今回の受賞を励みとして、更なる技術研磨・品質の向上に努め、安全・安心な地域社会の発展に貢献出来るように努めてまいります。

今後とも、皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役
平 哲郎



管理技術者
木村 和則

